

とくだね

「春」 撮影：徳田 元

目 次

◆ごあいさつ(院長 橋口昭人)／新入職員入社式	2	◆院内研修会／火災訓練	6
◆新入医師の紹介	3	◆医療安全研修	7
◆当院の診療、手術実績について	4	◆新入職員紹介／お花見弁当／外来診療予定表	8
◆病院機能評価認定について	5		

医療法人秋津会

〽理念〽

地域と共生し、活力ある医療をめざします。

〽基本方針〽

- 一、脳疾患の急性期医療を充実させ地域住民の救急救命に貢献します。
- 一、地域医療連携を深め患者様の社会生活・在宅復帰を支援します。
- 一、患者様の権利を尊重し、説明と同意に基づいた安心と満足の医療を提供します。
- 一、職員の職業倫理、法令遵守の精神を涵養して、組織を支える人材の育成に努めます。

〽職業倫理規定〽

当院職員は、医療人としての社会的使命、職責の重大性を認識し、当院すべての職種に求められる職業倫理を以下のように定めます。

- 一、医療を受ける患者様の権利と人格を常に尊重します。
- 一、ホスピタリティの心で患者様の立場に立ち信頼されるように務めます。
- 一、知識と技術の習得向上のために、常に生涯学習を行います。
- 一、他職種との相互尊重で協力関係を保ちチーム医療を向上させます。
- 一、医療の公共性と安全性を重んじ、法規範を遵守した運営に努めます。

〽患者様の権利と責務〽

- 一、公平な医療を受ける権利
- 一、十分な説明を受ける権利
- 一、医療に関して自ら決定する権利
- 一、個人情報保護と開示を求める権利
- 一、当院の最善の医療を受ける権利
- 一、良い治療のために私たち医療従事者と協力する責務



院長
橋口 昭人

医療法人秋津会徳田脳神経外科病院の広報誌「とくだね」をご覧いただき、ありがとうございます。

私が院長に就任してから7年が経過し、その間に病院やその周辺環境は大きく変化してきました。この機会に、私が考えていることをお伝えしたいと思います。

まず、当院は令和5年（2023年）5月に新築移転を行い、ハード面の更新を図ることで、より良い医療を提供できる環境が整いました。今後も血管造影室の拡充など、設備や医療機器の改善、更新を漸次進める予定です。また、待ち時間の短縮や患者さんの利便性向上を目指し、自動精算システムなどの導入を進め、サージス面のさらなる向上に努めてまいります。一方、ソフト面では、2024年度から医師の時間外労働の制限が厳しくなり、当院では6名の脳外科医が常勤医として在籍しているものの、金曜日午後の通常外来の休診を余儀なくされました。さらに、どの職種も年齢層が高くなりつつある一方、地方病院の例にもれず、当院でも若手スタッフの確保が困難な状況です。優れた医

療を提供するには、設備だけでなく、志を持ったスタッフが不可欠です。また、どの職種も机上の学びだけでは不十分であり、ベテランから若手へ直接伝授すべき志や技があると考えますので、これらを受け継いで貫える若手スタッフの確保が必要です。現在の職員がやりがいを持ち続けられる職場であることが、入職を検討される方々にとっても大きな魅力になると考えていますので、職員が充実感を持つて働ける環境づくりに引き続き努めてまいります。診療体制については、今年度から脳血管内治療専門医が常勤医として着任し、より幅広い診療の提供が可能となります。また、これまでと同様に、救急や緊急手術などの必要な症例には24時間365日対応できる体制を維持しています。病院を取り巻く地域の状況を考えると、少子高齢化・人口減少は避けられない現実です。当院の属する肝属保健医療圏の人口も年々減少し、若年層においては健康意識の高まりや飲酒喫煙離れなどのライフスタイルの変化もあって、急性期診療の需要は今後低下していくと予測しています。こうした社会の変化に対応しながら、「信頼される病院」となれるよう、地域医療を充実させ、持続可能な医療体制の維持に努めてまいります。今後、患者さんが安心して受診できる病院を目指し、職員一同努力を重ねてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新入職員入社式を行いました。

4月1日、7名の新入職者を迎え、入社式が行われました。

今年度は医師2名、看護師3名、理学療法士2名が入職致しました。

理事長や院長挨拶の後に代表者へ辞令が交付され、その後は各部署の紹介や研修等が行われました。

緊張や不安から若干固い表情も見られましたが、熱心に耳を傾けていました。早く職場に慣れて、一緒に頑張っていきましょう。





医師
本原慶彦

2025年4月より赴任いたしました、本原慶彦（もとばら よしひこ）と申します。2012年に医師となり、以後10年ほど福岡県内で脳神経外科診療に従事しており、2023年度より熊本大学脳神経外科に入局、本年3月までは熊本赤十字病院で勤務しておりました。

鹿児島県内で常勤として勤務するのは初めてで、県内には旅行や短期の仕事などで何度か訪れたことはありますが、大隅半島に足を運ぶことはなかったため、仕事も生活も新鮮な気持ちで過ごしております。

これまでの医師生活は、いわゆる手術（開頭手術のみならず、カテーテル治療（血管内治療）も併用する施設にしか在籍しておらず、その影響もあり血管内治療に関しましては、専門医資格も取得しておりますが、当院は基本的に開頭手術などの直達手術のみを行いますので、手術のみに限定した研鑽を詰もうと努力しております。

一方で、前述のように血管内治療に関しましては専門医資格を有して

おり、当院ではこれまでも、おおむね発症から4.5時間以内程度の方を対象とした超急性期脳梗塞（厳密には時間に関して、この限りではありません）に対する血栓溶解療法や機械的血栓回収術といった薬物的、および血管内治療も行っておりますが、それらに対する治療成績の向上、また、それ以外の治療として、病態によつては血管内治療によるコイル塞栓術（動脈瘤を血管の内側から治療するカテーテル治療）や、頸部の動脈が狭いために、脳梗塞を発症したり、その危険性が高い方に対して血管の中から金属製の筒（ステント）を留置して、その発症リスクを低下させる頸動脈ステント留置術、あるいは、動脈瘤に直接触ることなく、特殊なステントを留置して動脈瘤を消失させるフロードायバーステン留置術なども、当院で提供可能な治療選択肢として患者さんに提案していけるよう体制を整えていければと考えております。ですので、動脈瘤などの治療について、血管内治療の立場からご相談させていただけることがあれば、お気軽にお尋ねください。

最後になりますが、これまでと変わらず一生懸命に診療に励んでいく所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。



医師
中川雄大

2025年4月より徳田脳神経外科病院に赴任いたしました中川雄大（ゆうた）と申します。

3月までは山口県下関市の下関医療センターに勤務しており、3月から4月にかけて約500kmを移動しました。出身は福岡県直方市であり、

北九州市の中高一貫校を卒業後、熊本大学医学部医学科に入学しました。小学校1年生から高校3年生までは剣道をしておりましたが、大学からは一変しソフトテニス部に入り、専ら部活ばかりしておりました。ソフトテニスが好きすぎる結果、現在は医学部ソフトテニス部の監督をしている状態です。最近はまだできておりませんが・・・。

鹿児島県に住むのは初めての経験であり、新鮮な気持ちで4月を迎えそこから約1カ月が経ちました。ようやく鹿屋市の道を覚え、お店を覚え、生活に慣れてきました。徳田脳

神経外科病院で働き始め、前任地と比較して外来患者様が多く、よりたくさんのお患者様に触れる機会のある病院だと感じました。コメディカルの方々との連携も非常に取りやすく、忙しい中にも働きやすさもあり、非常に充実した日々を送ることができています。今後も部活で培った体力と元気良さで患者様にも他医療従事者にも接しやすい医師を目指して懸命に働いてまいります。その中で自己の研鑽を積むことも忘れずに日々過ごしていきます。

最後になりますが、微力ながらも鹿屋の医療に貢献できるように診療を行ってまいります。至らぬ点多々あるとは思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



当院の診療、手術実績について

令和6年1月1日～12月31日までの
外来・入院患者様の診療、手術実績についてご報告致します。

【診療実績】

	実績	コメント
1日平均外来患者数	92.4名	年間の外来患者様の人数を診療日数で割り、1日平均の外来患者数を示しています。
1日平均入院患者数	65.5名	年間の延べ入院患者数を診療日数で割り、1日平均の入院患者数を示しています。
平均在院日数	(急性期) 14.90日	病院全体で1人1人の患者様の平均的な入院日数を示しています。病気を発症した直後の急性期と、リハビリを主に行う回復期では日数に違いがあります。
	(回復期) 62.55日	
平均病床稼働率	(急性期) 92.26%	病床が効率的に稼働しているかを示す指標です。100%に近いほど空床が無い状態となりますが、当院は急性期医療を専門とするため、常に利用可能な病床を確保する必要があります。
	(回復期) 94.64%	
救急患者実績	951名	日中、夜間、休日に救急車を利用して来院された患者数

【手術実績】

全手術件数・・・202件

(主要手術)	実績	コメント
開頭動脈瘤クリッピング術	35件	頭蓋骨を開けて、破裂した動脈瘤もしくは破裂前の動脈瘤の根元を専用のクリップで直接遮断します。
開頭血腫除去術	6件	頭蓋骨を開けて、脳の中の血腫を取り除き、脳への圧迫を防ぎます。(試験開頭含む)
開頭腫瘍摘出術	6件	頭蓋骨を開けて、脳の中の腫瘍を取り除きます。
頭蓋内微小血管減圧術	5件	脳神経を圧迫する脳動脈を移動、減圧させることで顔面の強い痛み(三叉神経痛)やピクツキ(顔面痙攣)を治す手術です。
バイパス術等	8件	脳動脈の狭窄・閉塞による血流低下に対して、頭皮動脈などを用いたバイパス術を行います。
経皮的脳血栓回収術	9件	カテーテルを用いて脳血管を閉塞している血栓を除去する手術です。
頸動脈内膜剥離術	32件	細くなった頸動脈を直接切開し、動脈硬化で厚くなった血管壁(内膜)を取り除く手術です。
穿頭血腫除去術	56件	局所麻酔下で頭蓋骨に小さな穴をあけて、血腫を除去します。
水頭症手術	9件	脳室やくも膜下腔に貯留した脳脊髄液を、体外または腹腔、心臓内に排出させる方法です。
脊椎関連手術	6件	脊椎の前方あるいは後方よりアプローチし、病変を除去あるいはその圧迫を解消する手術です。

病院機能評価認定について

質の高い医療を効率的に提供するためには、医療機関自らの努力が重要となりますが、その努力をより効果的なものとするためには、第三者評価を活用し更なる改善に継続的に取り組むことが有用となります。



昨年10月28～29日に病院の第三者評価機関である公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審し、「一般病院2」及び「副機能リハビリテーション病院」の認定を受けました。

2003年8月に初回認定、今回で5回目の更新となります。



病院機能評価とは中立的、科学的、専門的な見地から、病院の組織運営管理と提供する医療について「患者」視点での評価を受けるもので、患者様中心のケアプロセスや、医療の質の継続的な改善が出来ているかを知る大切な機会となります。

評価内容は「患者中心の医療提供」や「良質な医療の実践」、「理念達成に向けた組織運営」など、それぞれの項目に基づいて判断されます。



当日は4名のサーベヤー（調査員）が来院され、書類審査や面接調査、各部署訪問などから様々なご指摘やアドバイスを頂きました。

今回の評価結果を基に日々の業務内容を見直し、今後も医療サービスの質と安全の更なる向上に努めて参ります。

院内研修会「移植医療の現状・基礎知識」を開催しました。

1月23日(木)、鹿児島県移植医療アイバンク推進協会 鹿児島県臓器移植コーディネーターの前平知子先生を講師にお迎えし、院内研修会「移植医療の現状・基礎知識」を行いました。

当院はこれまで心停止下での臓器提供が可能な施設として体制を整えてまいりましたが、コロナ禍で本研修会は行えておらず、数年ぶりの開催となりました。

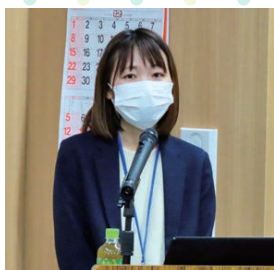
臓器移植とは、働きが失われた臓器の代わりに、他の人からその臓器の提供を受け移植することにより、その臓器の機能を取り戻そうという医療です。日本では約16,000人の方が臓器移植を希望されていますが、実際に臓器提供を受けられた方は全体の約4%になります。

提供と移植については、「提供する権利としない権利」、「移植を受ける権利と受けない権利」それぞれが尊重されますが、私達医療従事者は、移植医療に関する意思が十分活かされるように理解を深め、院内の体制整備を推進することは重要と思われます。

臓器移植に関する権利



日本臓器移植ネットワークHPより



火災訓練を実施しました。

今回は夜間に3階病棟からの出火を想定した訓練です。

夜間は日中に比べて職員も少なくなりますので、限られた人数で消火や避難誘導、連絡といった行動を効率よく、スピーディーに行わなければなりません。

消防署員の方からは、少人数での火災対応は避難階段で下の階へ患者を避難させる「垂直避難」ではなく、同じフロアの防火区画に避難する「水平避難」が有効であり、少しでも多くの患者様を救うために、出来るだけ火元から遠ざけることが非常に重要とお聞きしました。

医療機関は医薬品やアルコール類、酸素吸入器や電気メスをはじめとする医療機器などを扱うことから、出火危険の高い施設でもあります。その一方で、自力避難が難しい患者様もおられるため、初期消火を実施するとともに、速やかに患者様を避難誘導することが求められます。

まずは火災を出さないことが第一ですが、今後も定期的に火災訓練を実施し、職員全体の防災意識を高めていきたいと思います。



医療安全研修

厚生労働省は、平成13年から「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動」として、総合的な医療安全対策を推進しています。当院でも職員に対して研修会を開催し、医療安全の取り組みについて分かりやすく説明しました。取り組みの内容が理解でき、実践に活用できているかは今後評価・検証し、重大な患者誤認防止につなげていきたいと思います。

○医薬品安全管理「ハイリスク薬について」…薬剤科 河原理恵



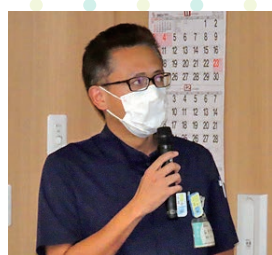
ハイリスク薬とは、使い方を誤ると患者さんに大きな被害をもたらすリスクのある、特に安全管理が必要な医薬品のことを言います。今回は ①内服抗血小板薬及び抗凝固薬 ②糖尿病用治療薬 ③注射カリウム製剤について学びました。それぞれの薬剤の種類や効能、注意事項など、改めて知ることも多く、患者様に直接関わる看護師からは看護や介護に活かしたい、安全な薬剤投与につなげたい等の意見がありました。

○「情報管理室による「サイバーセキュリティについて」…情報管理室 宮脇拓郎



当院におけるIT化について(電子カルテ導入と現状)、セキュリティの重要性(漏洩、改ざんなど)、コンピューターウイルス(感染経路、事故事例)、セキュリティ事故防止について学びました。近隣施設での事故事例を紹介され「セキュリティについて理解でき、ウイルス感染の怖さを改めて知った、などの意見が聞かれ、危機感をもって日頃から個人情報流出防止対策につとめていきたいと思いました。

○「診療放射線安全管理責任者による、診療用放射線の安全利用」…放射線科 重田洋一



2019年医療法施行規則の一部改正に伴い、医療機関の管理者が診療用放射線に係る安全管理の体制を整備することが求められ、当院でも医療放射線安全管理のための指針を策定し、医療被曝の線量管理・記録や職員研修(年1回)の実施を行っています。

近年お名前と生年月日での患者誤認防止対策が推奨されつつある中、当院も「患者様のお名前と生年月日を何度も確認すること」で医療安全活動に取り組んでいくことにしました。

まずは診察や検査時などに必ずお名前と生年月日を名乗って頂き、患者誤認防止に取り組んでいます。何度も繰り返し確認することで、医療事故防止に繋がっていききたいと思います。

皆様の医療安全対策への参画とご協力をお願い致します。

医療安全管理室 加治木ゆかり

患者誤認防止対策へのお願い

当院では、患者さんを間違えないために、**診察、注射・内服、検査、手術 等のときに、お名前と生年月日をお聞きます。**



当院はあらゆる場面で、**お名前(フルネーム)と生年月日**を、お伺いしています。
お名前と生年月日の確認は、医療安全の基本！
どうぞ、**患者間違い防止**にご協力下さい。



新入職員の紹介



リハビリテーション室
理学療法士

茶園 笙太

趣味・特技

ドライブ、ウォーキング

ひとこと

ホスピタリティな理学療法士を目指して勉強を怠らず、日進月歩していきます。



リハビリテーション室
理学療法士

松村 瑠祐

趣味・特技

スポーツ観戦
バレエ、野球(練習)

ひとこと

患者様だけでなく職員の方にも必要とされる理学療法士になれるよう頑張りたいです。



3階病棟 看護師

廣森 由芽

趣味・特技

音楽を聞くこと、すること。
絵を描くこと。

ひとこと

ちょっとしたことで相談のつづける先輩方がたくさんいらつしゃって、いつも助けられています。ありがとうございます。



2階病棟 看護師

内之浦 崇流

趣味・特技

字を少しかっこよく書ける。
ゲームとスポーツと睡眠の並立。

ひとこと

でっかい男になってみせます。自信にあふれた看護師に俺はなる!!



2階病棟 看護師

池田 愛唯

趣味・特技

ご飯と寝ることと同じくらいK-POPとゲームが大好きです！好きなことでリフレッシュ&癒されながら笑顔で患者さんに関われるよう頑張っています！

ひとこと

優しい先輩方に支えられながら、毎日たくさんのことを学ばせていただいています。少しでも早く成長し、より良い看護ができるよう頑張ります。

「お花見弁当」



春を全身で感じる今日この頃。

こんな季節は、お弁当を作って外で食事をするのが楽しいですね。自然を感じながら食べる食事は、一段と美味しく感じます。

入院中の患者様にもそのような気分を味わって頂きたいと思い、今年もお花見弁当を用意しました。春の訪れを告げる菜の花はビタミンCの含有量が高く、和え物や煮びたし、吸い物、炒め物等におすすめです。

メニュー

- ・桜ご飯 ・鶏の唐揚げ ・炊合せ ・春雨の酢の物
- ・煮豆 ・清まし汁(菜の花) ・果物

診療予約についてお知らせ

かねてより診療時には長時間お待たせして、大変ご迷惑をおかけしております。

当院では、外来での待ち時間を極力短くするために、再来診察のみを予約制としております。 外来診療終了時に次回の受診予約を入れますので、医師と相談の上、日時を決めて下さい。 その際、診療予約票をお渡ししますので、次回の診療時にご持参ください。

なお、担当医師の希望がありましたら、遠慮無く外来看護師へ声をかけてください。

病院長

○当院では下記の通り曜日別に来外診療担当医が変わります。

外来診療予定表

(2025.4.1)

	月	火	水	木	金	土
外来診療担当医師	徳田 諸木	徳田 諸木	徳田 (午前) 諸木	徳田 諸木	徳田 諸木	お月間担当医に お知らせ致します。 月間予定表にては 致しません。
	橋口 本原	田中 本原	橋口 田中	橋口 (午前) 本原	橋口 本原	
	中川 中川	合原 合原	中川 合原	合原 合原	中川 中川	
			中川		午後休診	
						午後休診

*手術、検査などにより変更される場合があります。



医療法人 秋津会

徳田脳神経外科病院 とくだ居宅介護支援事業所

〒893-0011 鹿児島県鹿屋市打馬1-11248-1
TEL.0994-44-1119(代)/FAX.0994-40-3155
<https://tokuda-hp.com/>

受付時間

平日 午前8:00~11:00 午後1:30~4:00
金・土曜 午前8:00~11:00 (金・土曜午後、日曜日・祝祭日は休診)
※救急は、24時間365日いつでも対応いたします。

面会

【時間】月～金曜日(祝日除く)14~16時
1日1回15分以内(受付 15:45まで)
【人数】2名まで(高校生以上、ご家族・キーパーソン)
【場所】各病室において
※院内外の感染状況次第では、面会禁止となる場合もあります。

荷物受渡

【時間】月～金曜日(祝日除く)10~17時
※緊急入院の場合は適宜対応

